

# 群馬県衛生環境研究所年報

ANNUAL REPORT OF GUNMA PREFECTURAL INSTITUTE  
OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENTAL SCIENCES

NO. 44 2012

群馬県衛生環境研究所

## まえがき

地方衛生研究所は、現在 79 所が全国協議会に加盟していますが、地方財政の悪化の影響を受けて、いずれも大幅な予算と人員の削減にさらされています。地方衛生研究所をどのように運営するかについては、各自治体の裁量にすべて任されており、国（厚生労働省）は地方分権の壁もあって、もはや地方に指示命令する権限を持ちません。

2009 年のインフルエンザ（A/H1N1）パンデミックや、2011 年の原発事故後の放射線量測定など、健康危機発生時には地方衛生研究所は「地方における科学的・技術的中核機関」としての重要な役割を果たし、その存在感を示しました。一方、この間も地方衛生研究所の機能低下は進行しており、それに加え地方衛生研究所間の格差も拡大の一途を続けています。その結果、一部の地方衛生研究所では、平常時の試験検査業務をこなすのが精一杯で、発生事案への対応に支障が生じる事態まで生じています。地方自治体における衛生検査業務は、今では各保健所から地方衛生研究所に移行集中しているため、地方衛生研究所がその機能を果たせなくなった時には、その地域にはもはやバックアップ体制はなく、あとは国立感染症研究所などの国の研究機関に頼るしかありません。

このような厳しい状況の中、地域保健法の見直しが行われ「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」が一部改正されました。その中に「地方衛生研究所の機能強化」が一項目として盛り込まれました。国が地方衛生研究所の現状を危機的にとらえ、これ以上の機能低下を防ぐために、地方自治体に地方衛生研究所の強化を要請する内容です。

都道府県の保健所ならびに地方衛生研究所は、これからは健康危機管理対応を主たる業務と位置づける必要があります、そうした方向へ組織や業務、また職員の意識を変えてゆくことが求められるでしょう。地方衛生行政、特に都道府県におけるこの方向性の変遷をよく認識し、適切に対応することがきわめて重要です。

2012 年 11 月

群馬県衛生環境研究所長 小澤邦壽

# 目 次

## まえがき

### I 機 構

1 沿 革	1
2 組織と業務内容(平成 24 年 4 月 1 日)	3
3 職員一覧(平成 24 年 4 月 1 日)	4
職種別職員数	5
4 決算(平成 23 年度歳出目・節別調書)	6
5 主要備品一覧	7
6 学会・研究会及び会議への出席	8

### II 業務実績

1 水環境・温泉研究センター	11
2 感染制御センター	14
3 研究企画係	16
4 保健科学係	17

### III 調査研究

#### 報文

1 群馬県における光化学オキシダントの状況 一条美和子、熊谷貴美代	19
--------------------------------------	----

#### 短報

2 2006-2011 年度群馬県感染症流行予測調査のまとめ - 麻しん及び風しんについて - 塩原正枝、小林美保、後藤考市、齋藤美香、石岡大成、横田陽子	28
3 児童とその保護者に対する手洗い指導の教育効果 後藤考市、塩原正枝、小林美保、横田陽子、吉田幸正、顧艶紅	32

### IV 資 料

1 尾瀬沼水質調査およびコカナダモ生育状況観察結果 山口直哉、須藤和久、松本理沙、木村真也、後藤和也、中島穂泉	35
2 県内河川水の大腸菌数検査結果 後藤考市、木村真也、中島穂泉	39
3 平成 23 年度群馬県感染症流行予測調査結果 塩原正枝、小林美保、後藤考市、塚越博之、齋藤美香、石岡大成、横田陽子	41
4 平成 23 年度に感染症発生動向調査から検出されたウイルス 齋藤美香、塚越博之、小林美保、石岡大成	49

## V 発表業績

### 1 学会誌等への投稿

- 1 Serum cytokine profiles in patients with prostate carcinoma.
- 2 Prevalence and Genotype of *Salmonella* Choleraesuis in Gunma Prefecture, Japan.
- 3 A molecular epidemiological study of respiratory viruses detected in Japanese children with acute wheezing illness. .... 53
- 4 Detection and quantitation of *Norovirus* genome using real-Time RT-PCR.
- 5 The impact of Saffold cardiovirus in patients with acute respiratory infections in Yamagata, Japan. .... 54
- 6 Molecular epidemiological study of human rhinovirus species A, B and C from patients with acute respiratory illnesses in Japan.
- 7 First Detection of Measles Virus Genotype G3 in a Japanese Woman: an Imported Case. .... 55
- 8 Detailed genetic analysis of hemagglutinin-neuraminidase glycoprotein gene in human parainfluenza virus type 1 isolates from patients with acute respiratory infection between 2002 and 2009 in Yamagata prefecture, Japan.
- 9 群馬県における水環境健全性指標の活用と川づくりへの住民参加の試み.
- 10 群馬県における地下水窒素汚染に対する大気沈着の寄与の推計. .... 56
- 11 新たに開発した次亜塩素酸処理循環浴槽システムのレジオネラ属菌・大腸菌群および一般細菌の制御.
- 12 関東内陸部における大気中炭素性エアロゾルの特性および粒子状物質汚染に関する研究. .... 57

### 2 学会等での発表

- 1 群馬県での取り組みについて①群馬県版水環境健全性指標の活用.
- 2 群馬県での取り組みについて②川づくり指標への応用.
- 3 大気試料の受容体結合活性を指標とする暴露評価モニタリング手法の検討.
- 4 大気中の多環芳香族炭化水素及びその酸化体の国内分布. .... 58
- 5 循環式浴槽ろ過器内ろ材のレジオネラ属菌検出に係る前処理方法の検討.
- 6 群馬県における有害大気汚染物質発生源対策調査.
- 7 大気中微小粒子状物質汚染の実態調査について. .... 59
- 8 電気化学的手法を用いたホルムアルデヒドの分解効率についての解明.
- 9 初冬季の関東地方における PM2.5 炭素成分の高時間分解同時観測.
- 10 初冬季の関東地方における PM2.5 無機イオンの高時間分解同時観測. .... 60
- 11 群馬県内における PM2.5 の重量濃度と成分.
- 12 飛行時間型エアロゾル質量分析計を用いた冬季埼玉県北部における微小粒子中の有機成分の化学的特性.
- 13 近年発見された Saffold cardiovirus の疫学調査.
- 14 喘鳴を呈する急性下気道感染児から検出された呼吸器ウイルスの疫学解析. .... 61
- 15 群馬県における感染性胃腸炎の発生動向と検出されたノロウイルスの遺伝子型について.
- 16 群馬県版水環境健全性指標の開発.
- 17 地域住民と協働した多自然川づくり指標の作成.
- 18 群馬県版水環境健全性指標の活用法.
- 19 地域住民と協働した多自然川づくり評価指標の作成. .... 62
- 20 群馬県における多自然川づくり指標の作成.

21 群馬県版水環境健全性指標の作成と活用法	63
------------------------	----

## VI 研修・業績発表会

1 当所で実施した研修	65
2 当所で受け入れた視察、研修	67
3 業績発表会	68